

# 「またか」衝撃走る

## 「憤りを感じる」

東門美津子市長は十一日午前



米兵による女子中学生暴行事件について、報道陣の質問に答える東門美津子  
沖縄市長 = 11日午前10時25分ごろ、沖縄署

十時過ぎ、容疑者が身柄を拘束されている沖縄署を訪れ、新屋良徳副署長から説明を受けた。東門市長は「事件にショックを

受けた。米軍関係機関、日本政府にしっかりと抗議していきたい」と強調。さらに、「私にとって一九九五年の米兵暴行事件を思わせる事件。『これから』という子どもがこんな目に遭うことは、絶対に許されないし憤りを感じる」と怒った。

## 軍人の監視必要

容疑者の米海兵隊員が所属するキャンプ・コートニーが所在

## 「極めて遺憾だ」

する、うるま市の知念恒男市長は「ひどいことが起こってしまった。再発防止を何度申し入れても、同じことが繰り返される」と怒った。「ここまで来ると、責任者が(軍人の)行動を監視することが必要だ。二度とこのようなことが起こらないように、市としても抗議など対策を考えたい」と話した。

## 適切措置求める

「だ」として綱紀粛正、再発防止の徹底を申し入れた。ドノバン次席公使は、「事実関係の調査を見守るが、米側としても事態を深刻にとらえており、日本側の捜査に全面的に協力していく」と述べたという。防衛省も同様の要請文を在日米軍のライト司令官あてに送付。沖縄防衛局も四軍調整官あてに送った。

## 再発防止策を議論 沖縄相

岸田文雄沖縄担当相は十一日午後、在沖米海兵隊員による女子中学生暴行事件を受け、「大を示した。仲村教育長は十二日以降に、緊急の校長会を開き、不審者からの声かけや誘いに乗らないよう児童、生徒に指導を徹底するよう求めることを説明。「米軍には綱紀粛正、本気になって隊員教育を行うように厳しく対処していきたい」と話した。

## 捜査に全面協力

沖縄防衛局の真部朗局長は、「女性の人権を無視した非人道的行為で決して許すことのできない凶悪な事件であり、強い憤りを感じる。事件が発生するたびに、米軍に対して、再発防止等について強く申し入れきたが、このような事件が発生したことは極めて遺憾」などと、米軍に「直ちに適切な措置を講ずることを強く求める」とするコメントを発表した。

## 緊急校長会開催へ

仲村守和県教育長は十一日午後、県教育庁で緊急会見を開き「児童・生徒の命を預かる者として、強い憤りを感じ、決して許すことができない」と強い口調で語った。その上で、「被害

に遭った生徒の心の傷は計り知れないものがあり、心のケアに早急に取り組む」とし、スクールカウンセラーなどの専門家を学校に派遣することや支援チームを発足して対応していく考え

を示した。仲村教育長は十二日以降に、緊急の校長会を開き、不審者からの声かけや誘いに乗らないよう児童、生徒に指導を徹底するよう求めることを説明。「米軍には綱紀粛正、本気になって隊員教育を行うように厳しく対処していきたい」と話した。

日米地位協定見直しの必要性については「これまで運用改善でやってきた。まずは綱紀粛正、再発防止にどのように取り組むか議論をし、その上で必要かどうか検討したい」と述べた。

在沖米総領事館は十一日午後、「事件はまことに遺憾。海兵隊員が女性への暴行容疑で拘留されていることを理解している。事件を真摯に受け止め、捜査に全面的に協力している」とコメントを発表した。